

摂津市の妊婦を対象とした栄養・食生活等に関する縦断調査 (PANCAKE Study)



国立健康・栄養研究所
所長 瀧本 秀美

01 研究の背景・目的

- 妊婦の栄養・食生活の支援は、母子保健施策の一つとして重要です。
- 国内では妊婦の栄養摂取状況や身体活動についての実態を明らかにする調査研究はあまり行われていません。
この研究では、妊娠中期・後期等の期間を通じた精度の高い食事記録や二重標識水法を用いたエネルギー消費量測定を行い、妊娠中の栄養・身体活動のガイドライン整備に向けたエビデンスの構築、及び地域における母子を取り巻く健康課題を明らかにしながら、自治体の母子保健施策等への還元を図ります。

02 研究内容(特徴・独自性)



(参考：略称の由来)
Pregnancy And Nutrition Cohort At KEnto Study

- 摂津市に居住する妊婦を対象に実施する地域ベースのコホート研究です。摂津市役所で妊娠届を提出した妊婦の中で、同意が得られた方の母子保健情報をNIBIOHNが摂津市から提供を受けます。また同意の取得状況等に応じて、以下図内のA~Cコースの方式で妊婦の方々から健康・栄養に関わる情報を多層的かつ縦断的に収集します。



特徴・独自性

この2つの手法を掛け合わせ研究できるのは、

**国内で
当研究所のみ!**

食事記録



二重標識水法 ※

※二重標識水法は、水の構成成分である水素と酸素の安定同位体を使った、自由に生活している状態のエネルギー消費量を測定する方法です。

- 出生後も3歳児健診(今後延長の可能性あり)まで追跡調査を行います。**妊娠中の経過や食事の内容が、妊婦の疾患等の治療における症状や結果、また子どもの健康とどのように関連するかについて明らかにすることを目指します。**

👍 アピールポイント (期待される効果・応用)

- 妊婦の栄養素摂取量×エネルギー消費量を、精度高く調査できるのは、**国立健康・栄養研究所の強み**
- 妊娠前の体格に応じて、**妊娠中のどの時期に何を食べたらよいのかについて、明らかになることが期待できます。**
- 妊娠中の栄養・食事・身体活動に関する知見は、自治体の健康づくり関連施策や、**ベビーフードやマタニティ用品業界企業の商品開発**に資するエビデンスとして活用されることが期待できます。幅広いアクターからの声がけをお待ちしております!!

栄養療法研究室

<https://www.nibiohn.go.jp/activities/nutrition-therapy.html>



関連する情報

こども家庭科学研究費補助金
成育疾患克服等次世代育成基礎研究事業
「妊産婦の栄養・食生活の実態把握と効果的な支援のための研究」

研究キーワード

妊産婦、コホート研究、母子保健、若年女性のやせ、食事記録、栄養、食生活、食事摂取基準、二重標識水法

是非、ご相談ください